

そとあんどけ

2015年
Vol.139

10
月号

秋の読書まつり

10/24 (土)

× ペーパーアート「プレーメンの音楽隊」
11:00～11:30 (まほうの箱)

× 工作とゲームの広場
11:30～12:45 ※定員あり

× 人カ車にのれる！ 12:00～12:30 ※定員あり

× 点字で☆迷路・暗号ゲーム
12:00～12:45 ※定員あり

× おぼけハンティング♪
12:20～12:45 (受付)
※定員あり

× おはなし会(やまびこ会)
13:00～13:30

× 映画上映「魔法をくたてマジョリン」
13:45～15:45

※参加無料(未成年者は保護者同伴)

展示の案内 ... 10/27(火)迄

「一般」

ゆとりの時間
～何して過ごす？～

「児童」

外国の人が書いたものがたりと
外国での暮らし

駐車料金改定のお知らせ
平成27年10月1日より 図書館利用の方は、
ユニティのおがた駐車場の利用が2時間無料に
なります。

※2時間無料には駐車券の処理が必要です。
駐車券を図書館窓口にお持ちください。
2時間以降は30分ごとに100円が加算されます。
※車内側コインパーキングは対象外です。

そとあんどけは、司書によるミニ新聞です。

10月

イベント

11日(日) おはなし会(赤ずきん) 11:00～ ★

13日(火) 乳幼児向けおはなし会(麦のこ) 11:00～ ★

25日(日) おはなし会(図書館職員) 14:00～ ★

11月

8日(日) おはなし会(赤ずきん) 11:00～ ★

8日(日) おもちゃ病院 10:00～14:00(受付) ◆

10日(火) 乳幼児向けおはなし会(麦のこ) 11:00～ ★

14日(土) 土曜シアター 14:00～ ★
「おくりびと」 131分

15日(日) おはなし会(わらわの会) 14:00～ ★

22日(日) おはなし会(図書館職員) 14:00～ ★

28日(土) おはなし会(ごらくとんぼ) 14:00～ ★

【10月】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

【11月】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

※ ■ はお休み、太字は17時閉館、○は行事がある日です。

11月6日(金)、7日(土)は、臨時休館いたします。
それに伴い、11月9日(月)は閉館いたします。

直方市立図書館 TEL: 0949-25-2240
開館時間: 火～土 10:00～19:00
日・祝 10:00～17:00

おいでよ♪

プレスレト作りやねんど工作、
ゴムでちまみの的あてなど、
6つのゲームと工作があるよ!

たくさんのおぼけを
みつけよう!

劇団四季の
ミュージカル
映画♪

カレンダー





Nostalgia

「ふるごと日本の道具」

面矢 慎介/監修 K383カ

「食事」「家事」「学校」「仕事」「遊び」の5つのグループで約1000種の道具が紹介されています。歴史の中に消えてしまったものもあれば、新しく作られたばかりの道具もあります！懐かしい気持ちと、初めましての気持ちを味わえる一冊です。

P.N 7

「NoGATA My home town 1983-1998」
尾仲 浩二/著 N748/

子供の頃、直方に住んでいた写真家・尾仲浩二さんが、故郷を訪れて撮ったモノクロ写真集。尾仲さんが、子供の頃に感じた匂いや、記憶のかけらを探して撮ったというこの写真集には、当時の直方駅周辺や、屋台など懐かしい光景が収められています。ぜひ思い出話に花を咲かせてください。

P.N ペコ



Nostalgia

「ロマンス」

柳衣司/著 Fヤ

殺人容疑をかけられた親友・毒人
に上野のカフェに呼び出された清林。それが、すべての始まりだ。華族、軍、共産主義活動家の捕縛、大奥復活の噂がからりあひ、事件は思いもよらない結末へ……。どこかデカクンの雰囲気と、取っ手深うミステリー。

P.N kao

「きょうのゴッホ」
加藤 休三/作 E913カ

クワの商店街にネコが一匹。いらいにおいもがざつて、夕ごはんのパトロールをはじめたよ。おいしそうなおかずが見聞き一面にドドンと描かれていて、本当ににおいが出てきそう……。優しく温かい食事の様子にどこか昔懐かしい感じがします。ネコと一緒にのぞいてみてください。

P.N kn2

スタルジア

「人間・王貞治 -89 野球魂-」
守枝 新海/著 783.7マ

ある時代と切り離すことのできない人物というのはいらぬものです。王貞治さんは、間違いなくその一人であり、彼はやはり野球選手として「昭和」という時代を作り、変えた人でした。しかし、この本は、そのほかの王選手の話ではなく、王監督の、しかも知られていない物語です。過去は必ず現在とつながっていて、郷愁のときの地絡さを見ながら生きていくのだと感じさせる一冊です。

P.N 曇天

「ひみつのカレーライス」
井上 荒野/作 E913イ

ファミオが家族と一緒においしくカレーを食べていると、カレーの中から黒いタネが出てきた。それはなんと、「カレーのタネ」！まさしく口に植えてみると、タネはどんどん育ち……。昭和を思わせる/スタルジアはさし絵と、奇想天外なお話が絶妙な大人も子供も楽しめる絵本です。

P.N ちら

「にほんのあそびの教科書 こどもたちへ伝えたい...」
にほんのあそび研究委員会/編 384.5ニ

昔の子供たちは、体を使って元気にあそんでいました。鬼ごっこだけでなく、氷鬼やかげ鬼など種類もさまざま。草花あそびも多数あり、昔の人々が季節を感じながら、柔軟な発想で楽しんでいて、懐かしさがあふれます。子供の頃の懐かしい記憶がよみがえってくる一冊です。

P.N K



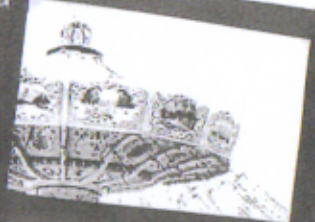
Nostalgia

「このへんでドロ〜します」

ハコニ調査室/文 049ハ

「とっくり」「てんでこい」「お口にチャック」。「どんずら」「ほんこつ」ってハコニ言葉だったの？結構日常的に使っていました…。/スタルジアあふれる絵柄とほんたにかげのなきながらの言葉がたい。ちゅと、のぞいてみてください。

P.N 3-



「猫目堂」

水名月けい/著 Fミ

山奥にある「猫目堂」という、落ち着いた雰囲気のアнтиーク雑貨店。どこか懐かしく感じる喫茶があった。入り口には「あなただけ探しているものがきっと見つかります。」とあり、引き寄せられるように、いかに何かを抱えている客が訪れる。喫茶でコーヒー片手にぜひ読んでほしい一冊。

P.N 47

「月のものがたり」

鈴木光司/編 918ス

月をテーマにして、素敵な月の写真とともに、小説・随筆・詩・和歌・俳句とさまざまなジャンルから名作がとまっています。昔から変わらない月に、想いを馳せる…。秋の夜長にぴったりの一冊ではないでしょうか。

P.N P

「天狗/オト」

田中 彩子/作 K9139

死んだ祖父が日記に記した謎の一文——天狗ニアフ。近辺に住むのは、さらわれた子供が天狗になる話。保は友人と共に、祖父が天狗について書いたノートを探そう。祖父が残した記憶だった。祖父が守ろうとしたものは？過去と現在、白線の内側と外側、人間と天狗。/スタルジアは雰囲気、夏の終わりの物語。

P.N 茶白



Nostalgia

Nostalgia

Nostalgia

「買った買った買った」
原田 宗典/著 914ハ

買い物は楽しい。ささやかな物にも思い入れがあり、それにまつわる思い出がある。子供の頃、パラソルチョコレートというものがあつた。パラソルの形がかわいくて、チョコを食べ終えても、残ったパラソルの柄を捨てるのがいやで「ず」とほめていた。このエッセイでも同じことが書いてあって、懐かし、可笑しい思い出した。くすくと笑える買い物エッセイ。

P.N Bee

「あのころのデパート」
長野 智ゆみ/著 914ナ

本書によると、昭和40年代には、家族そろってよそよそでデパートへ出かけるといふ日曜日の娯楽があつたようですが、平成の今日においては、たんなる買い物にすぎず、娯楽とは呼ばないでしょう。あのころのデパートにまつわるエピソード満載のエッセイです。懐かしいと感じる方も今の違いに驚く方もいるかもしれませぬ！

P.N 70



「昭和のお菓子 あの素晴らしい味をもう一度」
玄光社 588.3ケ

チョコバット、わたパチ、ジュ〜C。これ食べてたこと、これ好きだったこと。そんな懐かしい思い出が蘇る本書は、昭和のお菓子を写真とともに紹介しています。駄菓子についていたおまけも紹介されており、お菓子よりもさらに夢中だ。たのしみに出します。発売当時と現在のパッケージの比較もあり楽しめます。本書で懐かしい思い出に浸ってほしいかがていようか。

P.N 40ツ

